衛生管理者免許試験　公表問題

労働衛生（有害業務に係るもの以外）

① 温熱条件
② 視環境
③ 必要換気量
④ 快適職場
⑤ 労働安全衛生マネジメントシステム
⑥ 腰痛予防対策
⑦ 受動喫煙防止のガイドライン
⑧ 食中毒
⑨ 感染症
⑩ 情報機器作業
⑪ 労働衛生対策
⑫ 健康保持増進
⑬ メンタルヘスル対策
⑭ エイジフレンドリー
⑮ 健康診断の検査項目
⑯ 労働衛生管理統計
⑰ 脳血管障害・虚血性心疾患
⑱ 一次救命処置
⑲ 出血・止血法
⑳ 熱傷
㉑ 骨折

新潟ウェルネス
一般社団法人 新潟県労働衛生医学協会

【令和４年４月】

【 問３７ 】 厚生労働省の「労働安全衛生マネジメントシステムに関する指針」に関する次の記述のうち、**誤っているもの**はどれか。

（１）この指針は、労働安全衛生法の規定に基づき機械、設備、化学物質等による危険又は健康障害を防止するため事業者が講ずべき具体的な措置を定めるものではない。

（２）このシステムは、生産管理等事業実施に係る管理と一体となって運用されるものである。

（３）このシステムでは、事業者は、事業場における安全衛生水準の向上を図るための安全衛生に関する基本的考え方を示すものとして、安全衛生方針を表明し、労働者及び関係請負人その他の関係者に周知させる。

（４）このシステムでは、事業者は、安全衛生方針に基づき設定した安全衛生目標を達成するため、事業場における危険性又は有害性等の調査の結果等に基づき、一定の期間を限り、安全衛生計画を作成する。

（５）事業者は、このシステムに従って行う措置が適切に実施されているかどうかについて調査及び評価を行うため、外部の機関による監査を受けなければならない。

▸▸解説◂◂

労働安全衛生マネジメントシステム（ＯＳＨＭＳ）改正令和元年７月１日厚生労働省告示第 54 号。

（１）正しい：第２条。

（２）正しい：第３条（定義）第１項①。

（３）正しい：第５条（安全衛生方針の表明）。

（４）正しい：第 12 条（安全衛生目標の設定）、第 12 条（安全衛生計画の作成）。

（５）**誤り**：「外部の機関による監査を受けなければならない」という定めはない。第 17 条（システム監査）第１項。

＊解答＊ （５）

【令和 3 年 10 月】

【 問４０ 】 厚生労働省の「労働安全衛生マネジメントシステムに関する指針」に関する次の記述のうち、**誤っているもの**はどれか。

（１）この指針は、労働安全衛生法の規定に基づき機械、設備、化学物質等による危険又は健康障害を防止するため事業者が講ずべき具体的な措置を定めるものではない。

（２）このシステムは、生産管理等事業実施に係る管理と一体となって運用されるものである。

（３）このシステムでは、事業者は、事業場における安全衛生水準の向上を図るための安全衛生に関する基本的考え方を示すものとして、安全衛生方針を表明し、労働者及び関係請負人その他の関係者に周知させる。

（４）このシステムでは、事業者は、安全衛生方針に基づき設定した安全衛生目標を達成するため、事業場における危険性又は有害性等の調査の結果等に基づき、一定の期間を限り、安全衛生計画を作成する。

（５）事業者は、このシステムに従って行う措置が適切に実施されているかどうかについて調査及び評価を行うため、外部の機関による監査を受けなければならない。

▸▸解説◂◂

労働安全衛生マネジメントシステム（ＯＳＨＭＳ）平成 11 年 4 月 30 日労働省告示第 53 号。

（１）正しい：第 2 条。

（２）正しい：第 3 条（定義）第 1 項①。

（３）正しい：第 5 条（安全衛生方針の表明）第 2 項。

（４）正しい：第 12 条（安全衛生目標の作成）。

（５）**誤り**：「外部の機関による監査を受けなければならない」⇒そのような定めはない。

＊解答＊ （５）